

政府は、現行の健康保険証を**2024年12月2日**に廃止しようとしています。

反対の声が
多数なのに...

まだとめられる!!

私たちの声で 保険証を 残そう!!



1

マイナ保険証によるトラブルは 今も続いている

マイナ保険証^(※1)で「他人の健康情報と紐づけられる」「誤った負担割合が表示される」など医療機関でトラブルが相次いでいます。政府による「総点検」後も約6割の医療機関でトラブルが報告され、83%の医療機関がトラブル時に保険証で対応しています。もしものためにも、保険証は残すべきです。

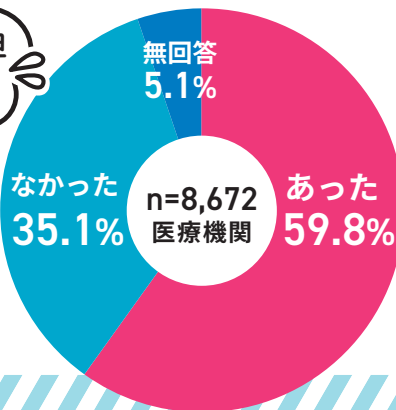
(※1)マイナンバーカードを保険証として利用できるようにしたもの

\\ **トラブル「あった」6割!** //

2023年10月1日以降のマイナ保険証などに関するトラブル

保団連調査1月31日発表

窓口で10割負担
となるケースも



2

マイナ保険証の**利用率はわずか5%弱!**^(※2) 8ヶ月連続で減少しています!

(※2)厚労省「オンライン資格確認の利用状況」より 2023年12月



保険証の方が
スムーズだな...

3

役所で更新する
時間がない...

今の保険証よりも手続きが 大変に...

今の保険証は、住所や職場が変わらない限り更新手続きは不要です。マイナ保険証だと、5年ごとに役所での更新が必要に!更新を忘れるなどで、保険料を払っていても「無保険扱い」になる可能性もあります。保険証とマイナ保険証を選択できるようにすればいいだけです。



安心して医療にかかるために、今の健康保険証を残そう!

署名へのご協力をお願いします!

裏面の署名と Web 署名は提出先が異なるため、
どちらも署名できます。

Web署名はこちら >>>



現行の健康保険証を 残してください

請 願 署 名

請願趣旨

年 月 日

政府は2023年6月に、現行の健康保険証を2024年秋に廃止し、マイナンバーカードに一本化する法案を可決成立させました。

しかし、誤登録や情報漏えい、「資格無効」と表示される等、マイナンバーカードでの受診によるトラブルが続出し、多くの患者・国民が不安を抱えています。

また、健康保険証が廃止されれば、マイナンバーカードを持たない人は公的保険診療から遠ざけられる結果となりかねず、国民皆保険制度の下で守られている国民のいのちと健康が脅かされます。

国民も、患者も、医療機関も望んでいないマイナンバーカードとの一本化はただちにやめて、現行の健康保険証を残してください。

請願事項

一、現行の健康保険証を残してください

※氏名・住所の欄に「同上」「〃」は不可、住所は番地までご記入願います。

氏 名	住 所
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県

※この署名は、憲法16条で保障された請願権にもとづいて行うもので、国会請願以外の目的では使用しません。

※鉛筆や「文字が消せるボールペン」でのご記入はご遠慮ください。

私のひとこと

<取り扱い医療機関、団体>